

八丈 高等学校 令和8年度

教科

芸術

科目 音楽 I

教科：芸術

科目：音楽 I

単位数：1 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者：

使用教科書：（教育芸術社 高校生の音楽 I

）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】意図に基づいて表現するための感性を養い、自身の表現に繋げる。

【思考力、判断力、表現力等】自ら試行錯誤や工夫を行い、それにより深く味わえるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自ら歌唱・器楽・創作で表現するための知識・技能を習得し、音楽文化の理解を深め、鑑賞の楽しさを体験すること。	自ら表現の仕方を工夫し、表現力、創造力を身に付けること。	自ら音楽への関心・意欲・態度・感性を高めることで、生涯にわたり音楽を楽しむ心情・音楽文化を尊重する態度・豊かな情操を育て身に付けること。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	単元：【音楽と出会う】導入とリズムの体験 【知】音階を理解する。 【思】演奏に必要な要素を理解することができる。 【学】他者と協力し、より良い演奏にむけて取り組むことができる。	【指導事項】 自己紹介・音楽の楽しさ共有 手拍子・リズム模倣 リズムゲーム	○	○	○	○	・自分自身を伝えられ、自分と相手を知ることができているか ・自分と他者、演奏や音楽との接点を見ることができているか	○	○	○	3
	単元：【楽譜に親しむ】音符拍・音階を知る 【知】楽譜について正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】楽譜を理解し、主体的に学ぼうとしているか。	【指導事項】 ・音符・休符の種類と拍数 ・ドレミの音階練習 ・簡単な楽譜読み	○	○	○	○	・楽譜の読み方を理解したか	○	○	○	4
	単元：【歌う楽しみ①】発声と歌唱基礎 【知】楽譜について正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】楽譜を理解し、主体的に学ぼうとしているか。	【指導事項】 ・発声について ・「糸」「クラッピングカルテット」など ・リズムと歌詞のつながり	○	○	○	○	・実際の曲を歌うための要素を知り、実際にやっているか（リズム、音の長さ、楽語、歌詞など）	○	○	○	3
	単元：【楽器に触れる①】打楽器入門 【知】楽譜について正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】楽譜を理解し、主体的に学ぼうとしているか。	【指導事項】 ・小さなアンサンブル	○	○	○	○	・どうやったら人とアンサンブルができるかを体験し、実際にやっているか	○	○	○	4
2 学 期	単元：【歌って知る】日本歌曲 【知】題材について正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】楽譜を理解し、主体的に学ぼうとしているか。	【指導事項】 ・「からたちの花」「夏は来ぬ」「浜千鳥」などの日本歌曲を歌い、その世界観に触れる	○	○	○	○	・自身のイメージを豊かに表現できているか	○	○	○	4
	単元：【オーケストラに触れる】表現を考える 【知】楽曲の特徴を理解できる。 【思】描かれた世界を考察することができる。 【学】鑑賞から主体的に学ぼうとしているか。	【指導事項】 ・楽曲分析 ・使用楽器を知る	○	○	○	○	・楽曲から得たインスピレーションを自身の言葉で表現できるか	○	○	○	4
	単元：【楽器に触れる②】伴奏づくりとアンサンブル 【知】旋律演奏について正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】楽譜を理解し、主体的に学ぼうとしているか。	【指導事項】 ・伴奏アレンジ ・小グループでの演奏づくり ・演奏と歌の合わせ	○	○	○	○	・他者との関係性の中で演奏することについて試行錯誤しながら表現できているか	○	○	○	4
	単元：【音をつくる①】リズムと旋律の創作 【知】旋律演奏について正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】楽譜を理解し、主体的に学ぼうとしているか。	【指導事項】 ・リズム創作ゲーム ・即興メロディ ・簡単な作曲体験（8小節）	○	○	○	○	・創作には何が必要かについて考え、素材集めができているか	○	○	○	3

八丈 高等学校 令和8年度

教科

芸術

科目 音楽Ⅱ

教科：芸術

科目：音楽Ⅱ

単位数：1 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組

教科担当者：

使用教科書：（教育芸術社 高校生の音楽Ⅱ

）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】意図に基づいて表現するための感性を養い、自身の表現に繋げる。

【思考力、判断力、表現力等】自ら試行錯誤や工夫を行い、それにより深く味わえるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自ら歌唱・器楽・創作で表現するための知識・技能を習得し、音楽文化の理解を深め、鑑賞の楽しさを体験すること。	自ら表現の仕方を工夫し、表現力、創造力を身に付けること。	自ら音楽への関心・意欲・態度・感性を高めることで、生涯にわたり音楽を楽しむ心情・音楽文化を尊重する態度・豊かな情操を育て身に付けること。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創							
1 学 期	単元：【音楽と出会う】導入とリズムの体験 【知】音階を理解する。 【思】演奏に必要な要素を理解することができる。 【学】他者と協力し、より良い演奏にむけて取り組むことができる。	【指導事項】 自己紹介・音楽の楽しさ共有 手拍子・リズム模倣 リズムゲーム	○	○	○	○	・自分自身を伝えられ、自分と相手を知ることができているか ・自分と他者、演奏や音楽との接点を見ることができているか	○	○	○	3	
	単元：【楽譜に親しむ】音符拍・音階を知る 【知】楽譜について正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】楽譜を理解し、主体的に学ぼうとしているか。	【指導事項】 ・音符・休符の種類と拍数 ・ドレミの音階練習 ・簡単な楽譜読み	○	○	○	○	・楽譜の読み方を理解したか	○	○	○	4	
	単元：【歌う楽しみ①】発声と歌唱基礎 【知】楽譜について正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】楽譜を理解し、主体的に学ぼうとしているか。	【指導事項】 ・発声について ・「糸」「クラッピングカルテット」など ・リズムと歌詞のつながり	○	○	○	○	・実際の曲を歌うための要素を知り、実際にやっているか（リズム、音の長さ、楽語、歌詞など）	○	○	○	3	
	単元：【楽器に触れる①】打楽器入門 【知】楽譜について正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】楽譜を理解し、主体的に学ぼうとしているか。	【指導事項】 ・小さなアンサンブル	○	○	○	○	・どうやったら人とアンサンブルができるかを体験し、実際にやっているか	○	○	○	4	
2 学 期	単元：【歌って知る】日本歌曲 【知】題材について正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】楽譜を理解し、主体的に学ぼうとしているか。	【指導事項】 ・「からたちの花」「夏は来ぬ」「浜千鳥」などの日本歌曲を歌い、その世界観に触れる	○	○	○	○	・自身のイメージを豊かに表現できているか	○	○	○	4	
	単元：【オーケストラに触れる】表現を考える 【知】楽曲の特徴を理解できる。 【思】描かれた世界を考察することができる。 【学】鑑賞から主体的に学ぼうとしているか。	【指導事項】 ・楽曲分析 ・使用楽器を知る	○	○	○	○	・楽曲から得たインスピレーションを自身の言葉で表現できるか	○	○	○	4	
	単元：【楽器に触れる②】伴奏づくりとアンサンブル 【知】旋律演奏について正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】楽譜を理解し、主体的に学ぼうとしているか。	【指導事項】 ・伴奏アレンジ ・小グループでの演奏づくり ・演奏と歌の合わせ	○	○	○	○	・他者との関係性の中で演奏することについて試行錯誤しながら表現できているか	○	○	○	4	
	単元：【音をつくる①】リズムと旋律の創作 【知】旋律演奏について正しく理解できる。 【思】模範演奏を考察することができる。 【学】楽譜を理解し、主体的に学ぼうとしているか。	【指導事項】 ・リズム創作ゲーム ・即興メロディ ・簡単な作曲体験（8小節）	○	○	○	○	・創作には何が必要かについて考え、素材集めができているか	○	○	○	3	

八丈 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教科：芸術

科目：美術 I

単位数：1 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組

教科担当者：

使用教科書：（新・高校生の美術 I）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術の良さを深く味わったりできるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情報を養う。

科目 美術 I の目標：

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】	表現				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
				絵 ・ 彫	デ 映	鑑 賞						
1 学 期	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようになる。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。									
	オノマトベの絵画 【知識及び技能】 オノマトベについて理解し絵の具の特性を活かす。 【思考力、判断力、表現力等】 言葉を絵画にする表現力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に素材集めに参加し、ほかの生徒と意見交換をしながら制作に取り組む。	・オノマトベについて学ぶ。 ・アクリルガッシュを用いて独自オノマトベを1枚の絵画作品にする。 ・作品の鑑賞	【知識及び技能】 オノマトベについて理解し絵の具の特性を活かすことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 言葉を絵画にする表現力を養うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に素材集めに参加し、ほかの生徒と意見交換をしながら制作に取り組むことができる。									7
2 学 期	テラコッタ粘土のレリーフ作り 【知識及び技能】 粘土の性質やレリーフ表現の基礎を理解し、適切な道具操作で成形・接着・仕上げをする。 【思考力、判断力、表現力等】 主題に応じて凹凸や構成を工夫し、平面の中で立体感やリズムを意図的に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 素材に主体的に関わり試行錯誤しながら制作工程にも責任をもって取り組む。	粘土の性質や基本的な扱い方、道具の使い方を理解させる。主題に基づき、凹凸やテクスチャを工夫したレリーフ表現を行わせる。制作工程や乾燥管理を意識しながら完成まで取り組ませる。	【知識及び技能】 粘土の性質や表現方法を理解し、適切に成形・接着・仕上げができる。 【思考力、判断力、表現力等】 主題に応じて凹凸や構成を工夫し、立体感やリズムを意図的に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 素材に主体的に関わり、試行錯誤しながら継続して制作に取り組むことができる。									7
	名前のロゴマーク 【知識及び技能】 ロゴマークの基礎的な知識や色彩や形の効果について理解し、造形感覚などを働かせ、意図に応じて創意工夫し、表現している。 【思考力、判断力、表現力等】 感性や想像力を働かせ、文字の形や自分自身の個性や特徴をもとに美しさなどを考え、表現の構想を練っている。ロゴマークの造形の美しさ、表現の工夫などを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 美術の創造活動の喜びを味わい、自分のシンボルマークを制作するにあたり主体的に構想を練ったり材料や用具を生かしている。CIの考えなど、造形の美しさ、作者の個性や特徴、表現の工夫などに気が付こうとする態度を養う。	・水張りパネルの制作手順を学習し、演習を観察する。観察後、二人一組になり、それぞれの水張りパネルを協力して制作する。 ・ロゴマークとは何か、CIの考えや文字のシンボル化について学習し、企業などのロゴマークを鑑賞する。 ・タブレットを用いて、任意の企業などのロゴデザインを取り上げ、特徴や工夫点、見る人にとどのような印象を与えるか、ロゴマークの特徴や、制作するにあたっての注意点などについて考察し、まとめる。 ・ロゴマークに投影する自分の情報を整理し、要素をイラストに起こす。 ・イラストをもとに、アイデアスケッチを練り、全体のバランスを考えながら、配色を決定し、枠の中に大きく下描きを描く。 ・アクリルガッシュの特性について学習し、筆を用いて作品を着色し、細部に至るまでこだわりをもち、最後に修正を行い、作品を仕上げる。 ・タブレットを用いて、お互いの作品について作者の工夫や優れたところに着目した鑑賞を行い、感想を入力する。	【知識・技能】 ロゴマークの基礎的な知識や、色彩や形の効果について理解し、造形感覚などを働かせて、意図に応じた色彩や形状などの構想を練り、創意工夫して表現できている。 【思考・判断・表現】 感性や想像力を働かせ、文字の形や自分自身の個性や特徴をもとに美しさなどを考え、表現の構想を練ることができる。ロゴマークの造形の美しさ、表現の工夫などを理解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 美術の創造活動の喜びを味わい、自分のシンボルマークを制作するにあたり主体的に構想を練ったり材料や用具を生かすことができる。CIの考えなど、造形の美しさ、作者の個性や特徴、表現の工夫などに気が付こうとする態度を身につけることができる。								15	
3 学 期	篆刻-印鑑作り 【知識及び技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。	・石から生き生きとした形を彫り出すことの楽しさを味わうことができる。 ・立体的に捉え、どの視点から見ても面白いデザインを考えることができる。 ・彫刻刀を使い分けながら、360度の視点を持って彫り出すことができる。 ・細かい部分まで彫りだし、注意しながら丁寧に形作ることが出来る。 ・石材の特性を踏まえて磨き加工を施し、光沢のある仕上がりになる。 ・キャプションを考え、作品の紹介を行う。 ・他者の作品を鑑賞し、互いの作品の良さを深め合う。	【知識及び技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うことができる。									5
	金箔を用いた水墨画 【知識及び技能】 日本画の技法や歴史、また金箔の貼り方を理解し、テーマに合った描画で作品を制作する。 【思考力、判断力、表現力等】 墨の特性を活かした表現をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 美術の創造活動の喜びを味わい、造形の美しさ、作者の個性や表現の工夫などに気が付こうとする。	・鑑賞を通し日本画、水墨画の伝統や技法を学ぶ。 ・色紙に金箔を貼り、日本画材、墨を用いてテーマに沿った絵を描く。 ・タブレットを用いて、お互いの作品を鑑賞し、感想を入力する。 ・作者の工夫や優れたところに着目した鑑賞をする。 ・作品を写真撮影し、きれいにトリミングし、データ化して保存する。	【知識及び技能】 日本画の技法や歴史、また金箔の貼り方を理解し、テーマに合った描画で作品を制作することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 墨の特性を活かした表現ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 美術の創造活動の喜びを味わい、造形の美しさ、作者の個性や表現の工夫などに気が付こうとすることができる。									5
											合計	39

八丈 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教科：芸術

科目：美術 I

単位数：1 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者：

使用教科書：（ 高校生美術 I ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに表現する。

【学びに向かう力、人間性等】主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

科目 美術 I の目標：

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
				絵 ・ 彫	デ 映	鑑 賞						
1 学 期	<p>対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かに表現することができるようにする。</p> <p>【知識及び技能】 オノマトベについて理解し絵の具の特性を活かす。 【思考力、判断力、表現力等】 言葉を絵画にする表現力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に素材集めに参加し、ほかの生徒と意見交換をしながら制作に取り組む。</p>	<p>造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに表現し、価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p>	<p>主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>	○	○	○						7
	<p>テラコッタ粘土のレリーフ作り</p> <p>【知識及び技能】 粘土の性質やレリーフ表現の基礎を理解し、適切な道具操作で成形・接着・仕上げをする。 【思考力、判断力、表現力等】 主題に応じて凹凸や構成を工夫し、平面の中で立体感やリズムを意図的に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 素材に主体的に関わり試行錯誤しながら制作工程にも責任をもって取り組む。</p>	<p>粘土の性質や基本的な扱い方、道具の使い方を理解させる。主題に基づき、凹凸やテクスチャを工夫したレリーフ表現を行わせる。制作工程や乾燥管理を意識しながら完成まで取り組ませる。</p>	<p>【知識及び技能】 粘土の性質や表現方法を理解し、適切に成形・接着・仕上げができる。 【思考力、判断力、表現力等】 主題に応じて凹凸や構成を工夫し、立体感やリズムを意図的に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 素材に主体的に関わり、試行錯誤しながら継続して制作に取り組むことができる。</p>	○	○	○						7
2 学 期	<p>名前のロゴマーク</p> <p>【知識及び技能】 ロゴマークの基礎的な知識や色彩や形の効果について理解し、造形感覚などを働かせ、意図に応じて創意工夫し、表現している。 【思考力、判断力、表現力等】 感性や想像力を働かせ、文字の形や自分自身の個性や特徴をもとに美しさなどを考え、表現の構想を練っている。ロゴマークの造形の美しさ、表現の工夫などを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 美術の創造活動の喜びを味わい、自分のシンボルマークを制作するにあたり主体的に構想を練ったり材料や用具を生かしている。CIの考えなど、造形の美しさ、作者の個性や特徴、表現の工夫などに気が付こうとする態度を養う。</p>	<p>・水張りパネルの制作手順を学習し、演習を観察する。観察後、二人一組になり、それぞれの水張りパネルを協力して制作する。 ・ロゴマークとは何か、CIの考えや文字のシンボル化について学習し、企業などのロゴマークを鑑賞する。 ・タブレットを用いて、任意の企業などのロゴデザインを取り上げ、特徴や工夫点、見る人にどのような印象を与えるか、ロゴマークの特徴や、制作するにあたっての注意点などについて考察し、まとめる。 ・ロゴマークに投影する自分の情報を整理し、要素をイラストに起こす。 ・イラストをもとに、アイデアスケッチを練り、全体のバランスを考えながら、配色を決定し、枠の中に大きく下描きを描く。 ・アクリルガッシュの特性について学習し、筆を用いて作品を着色し、細部に至るまでこだわりをもち、最後に修正を行い、作品を仕上げる。 ・タブレットを用いて、お互いの作品について作者の工夫や優れたところに着目した鑑賞を行い、感想を入力する。</p>	<p>【知識・技能】 ロゴマークの基礎的な知識や、色彩や形の効果について理解し、造形感覚などを働かせて、意図に応じた色彩や形状などの構想を練り、創意工夫して表現できている。 【思考・判断・表現】 感性や想像力を働かせ、文字の形や自分自身の個性や特徴をもとに美しさなどを考え、表現の構想を練ることができる。ロゴマークの造形の美しさ、表現の工夫などを理解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 美術の創造活動の喜びを味わい、自分のシンボルマークを制作するにあたり主体的に構想を練ったり材料や用具を生かすことができる。CIの考えなど、造形の美しさ、作者の個性や特徴、表現の工夫などに気が付こうとする態度を身につけることができる。</p>	○	○	○						15
	<p>篆刻-印鑑作り-</p> <p>【知識及び技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表現することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>	<p>・石から生き生きとした形を彫り出すことの楽しさを味わうことができる。 ・立体的に捉え、どの視点から見ても面白いデザインを考えることができる。 ・彫刻刀を使い分けながら、360度の視点を持って彫り出すことができる。 ・細かい部分まで彫りだし、注意しながら丁寧に形作ることができる。 ・石材の特性を踏まえて磨き加工を施し、光沢のある仕上がりに出来る。 ・キャプションを考え、作品の紹介を行う。 ・他者の作品を鑑賞し、互いの作品の良さを深め合う。</p>	<p>【知識及び技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うことができる。</p>	○	○	○						5
3 学 期	<p>金箔を用いた水墨画</p> <p>【知識及び技能】 日本画の技法や歴史、また金箔の貼り方を理解し、テーマに合った描画で作品を制作する。 【思考力、判断力、表現力等】 墨の特性を活かした表現をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 美術の創造活動の喜びを味わい、造形の美しさ、作者の個性や表現の工夫などに気が付こうとする。</p>	<p>・鑑賞を通し日本画、水墨画の伝統や技法を学ぶ。 ・色紙に金箔を貼り、日本画材、墨を用いてテーマに沿った絵を描く。 ・タブレットを用いて、お互いの作品を鑑賞し、感想を入力する。 ・作者の工夫や優れたところに着目した鑑賞をする。 ・作品を写真撮影し、きれいにトリミングし、データ化して保存する。</p>	<p>【知識及び技能】 日本画の技法や歴史、また金箔の貼り方を理解し、テーマに合った描画で作品を制作することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 墨の特性を活かした表現ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 美術の創造活動の喜びを味わい、造形の美しさ、作者の個性や表現の工夫などに気が付こうとすることができる。</p>	○	○	○						5
	合計											39

八丈 高等学校 令和8年度（4学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅱ

教科：芸術

科目：美術Ⅱ

単位数：1 単位

対象学年組：第 4 学年 1 組

教科担当者：

使用教科書：（ 高校生美術Ⅰ ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を

【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

科目 美術Ⅱ の目標：

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】	表現				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
				絵 ・ 彫	デ 映	鑑 賞						
1 学 期	<p>対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができるようにする。</p>	<p>造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p>	<p>主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>									
	<p>【知識及び技能】 オノマトベについて理解し絵の具の特性を活かす。 【思考力、判断力、表現力等】 言葉を絵画にする表現力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に素材集めに参加し、ほかの生徒と意見交換をしながら制作に取り組む。</p>	<p>・オノマトベについて学ぶ。 ・アクリルガッシュを用いて独自オノマトベを1枚の絵画作品にする。 ・作品の鑑賞</p>	<p>○ ○ ○ ○</p>	<p>【知識及び技能】 オノマトベについて理解し絵の具の特性を活かすことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 言葉を絵画にする表現力を養うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に素材集めに参加し、ほかの生徒と意見交換をしながら制作に取り組むことができる。</p>								7
1 学 期	<p>テラコッタ粘土のレリーフ作り 【知識及び技能】 粘土の性質やレリーフ表現の基礎を理解し、適切な道具操作で成形・接着・仕上げをする。 【思考力、判断力、表現力等】 主題に応じて凹凸や構成を工夫し、平面の中で立体感やリズムを意図的に表現をする 【学びに向かう力、人間性等】 素材に主体的に関わり試行錯誤しながら制作工程にも責任をもって取り組む。</p>	<p>粘土の性質や基本的な扱い方、道具の使い方を理解させる。主題に基づき、凹凸やテクスチャを工夫したレリーフ表現を行わせる。制作工程や乾燥管理を意識しながら完成まで取り組ませる。</p>	<p>○ ○ ○ ○</p>	<p>【知識及び技能】 粘土の性質や表現方法を理解し、適切に成形・接着・仕上げができる。 【思考力、判断力、表現力等】 主題に応じて凹凸や構成を工夫し、立体感やリズムを意図的に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 素材に主体的に関わり、試行錯誤しながら継続して制作に取り組むことができる。</p>								7
	<p>名前のロゴマーク 【知識及び技能】 ロゴマークの基礎的な知識や色彩や形の効果について理解し、造形感覚などを働かせ、意図に応じて創意工夫し、表現している。 【思考力、判断力、表現力等】 感性や想像力を働かせ、文字の形や自分自身の個性や特徴をもとに美しさなどを考え、表現の構想を練っている。ロゴマークの造形の美しさ、表現の工夫などを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 美術の創造活動の喜びを味わい、自分のシンボルマークを制作するにあたり主体的に構想を練ったり材料や用具を生かしている。CIの考えなど、造形の美しさ、作者の個性や特徴、表現の工夫などに気が付こうとする態度を養う。</p>	<p>・水張りパネルの制作手順を学習し、演習を観察する。観察後、二人一組になり、それぞれの水張りパネルを協力して制作する。 ・ロゴマークとは何か、CIの考えや文字のシンボル化について学習し、企業などのロゴマークを鑑賞する。 ・タブレットを用いて、任意の企業などのロゴデザインを取り上げ、特徴や工夫点、見る人にとってどのような印象を与えるか、ロゴマークの特徴や、制作するにあたっての注意点などについて考察し、まとめる。 ・ロゴマークに投影する自分の情報を整理し、要素をイラストに起こす。 ・イラストをもとに、アイデアスケッチを練り、全体のバランスを考えながら、配色を決定し、枠の中に大きく下描きを描く。 ・アクリルガッシュの特性について学習し、筆を用いて作品を着色し、細部に至るまでこだわりをもち、最後に修正を行い、作品を仕上げる。 ・タブレットを用いて、お互いの作品について作者の工夫や優れたところに着目した鑑賞を行い、感想を入力する。</p>	<p>○ ○ ○ ○</p>	<p>【知識・技能】 ロゴマークの基礎的な知識や、色彩や形の効果について理解し、造形感覚などを働かせて、意図に応じた色彩や形状などの構想を練り、創意工夫して表現できている。 【思考・判断・表現】 感性や想像力を働かせ、文字の形や自分自身の個性や特徴をもとに美しさなどを考え、表現の構想を練ることができる。ロゴマークの造形の美しさ、表現の工夫などを理解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 美術の創造活動の喜びを味わい、自分のシンボルマークを制作するにあたり主体的に構想を練ったり材料や用具を生かすことができる。CIの考えなど、造形の美しさ、作者の個性や特徴、表現の工夫などに気が付こうとする態度を身につけることができる。</p>							15	
3 学 期	<p>篆刻-印鑑作り 【知識及び技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>	<p>・石から生き生きとした形を彫り出すことの楽しさを味わうことができる。 ・立体的に捉え、どの視点から見ても面白いデザインを考えることができる。 ・彫刻刀を使い分けながら、360度の視点を持って彫り出すことができる。 ・細かい部分まで彫りだし、注意しながら丁寧に形作ることが出来る。 ・石材の特性を踏まえて磨き加工を施し、光沢のある仕上がりになる。 ・キャプションを考え、作品の紹介を行う。 ・他者の作品を鑑賞し、互いの作品の良さを深め合う。</p>	<p>○ ○ ○ ○</p>	<p>【知識及び技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うことができる。</p>								5
	<p>金箔を用いた水墨画 【知識及び技能】 日本画の技法や歴史、また金箔の貼り方を理解し、テーマに合った描画で作品を制作する。 【思考力、判断力、表現力等】 墨の特性を活かした表現をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 美術の創造活動の喜びを味わい、造形の美しさ、作者の個性や表現の工夫などに気が付こうとする。</p>	<p>・鑑賞を通し日本画、水墨画の伝統や技法を学ぶ。 ・色紙に金箔を貼り、日本画材、墨を用いてテーマに沿った絵を描く。 ・タブレットを用いて、お互いの作品を鑑賞し、感想を入力する。 ・作者の工夫や優れたところに着目した鑑賞をする。 ・作品を写真撮影し、きれいにトリミングし、データ化して保存する。</p>	<p>○ ○ ○ ○</p>	<p>【知識及び技能】 日本画の技法や歴史、また金箔の貼り方を理解し、テーマに合った描画で作品を制作することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 墨の特性を活かした表現ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 美術の創造活動の喜びを味わい、造形の美しさ、作者の個性や表現の工夫などに気が付こうとすることができる。</p>								5
											合計	39

八丈 高等学校定時制課程

教科 芸術 科目 書道Ⅱ

教科: 芸術 科目: 書道Ⅱ

単位数: 1 単位

対象学年組: 第 3 学年 1組

教科担当者:

使用教科書: (東京書籍 書道Ⅱ)

教科 芸術 の目標:

- 【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特性について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技術を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 造形的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道Ⅱ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技術を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		漢	仮	鑑					
1 学 期	漢字の書(楷書) 【知識及び技能】 ・用具・用材の特徴を理解しながら、楷書体の古典作品を臨書し、各古典作品ごとの特徴を理解させ、書き分ける技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・書道の学習に必要な用具・用材の特質と扱い方を学び、用途に応じて使用および丁寧な扱いができるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・楷書作品の鑑賞を通じて、自己の表現力を養う。	・漢字の書(楷書)の臨書・鑑賞 プリントによる運筆の解説 机間巡視による指導							7
	漢字の書(行書) 【知識及び技能】 ・行書体の古典作品を臨書し、各古典作品ごとの特徴を理解させ、書き分ける技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・行書体の筆遣いと楷書体の筆遣いを比較させ、違いを理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典作品や他生徒作品の鑑賞を通じて、自己の表現力を養う。	漢字の書(行書)の臨書・鑑賞 プリントによる運筆の解説 机間巡視による指導							7
2 学 期	仮名の書 【知識及び技能】 仮名の成り立ちを学び、仮名と漢字の筆遣いを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 仮名の古筆の臨書の学習を通じて、仮名の筆遣いの理解を深めさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・仮名作品の鑑賞を通じて、自己の表現力を養う。	仮名の書の臨書・鑑賞 プリント、水書板による運筆の解説 机間巡視による指導							7
	漢字仮名交じりの書 【知識及び技能】 用具・用材の特徴と表現効果の関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や意図に基づいた表現力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 漢字仮名交じりの書や他生徒の作品鑑賞を通じて、自己の表現力を養う。	漢字仮名交じりの書の創作・他生徒作品の鑑賞・意見交換 現代の書の鑑賞をさせ、創作の表現方法の効果について解説							8
3 学 期	漢字の書(草書・隸書) 【知識及び技能】 ・草・隸書体の古典作品を臨書し、各書体ごとの特徴を理解させ、技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 草・隸書体の基本運筆を練習させ、楷書体、行書体との違いを理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・草・隸書作品の鑑賞を通じて、自己の表現力を養う。	漢字の書(草書・隸書)の臨書・鑑賞 プリント、水書板による運筆の解説 机間巡視による指導							5
	ペン字 【知識及び技能】 日常の書(はがき、手紙)の書き方を学習し、硬筆の技能を身に付けさせる。 ・著作権について学習し、引用する場合の方法や注意点を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 生活や社会における書の効用について理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 日常に生かそうと意欲的に取り組む姿勢を育むとともに、自己の表現力にもつなげる。	はがき、手紙、履歴書作成 ・漢字の書き順についての指導 ・ワークシート プリントによる解説 授業中での添削							5
合計									39

八丈 高等学校定時制課程

教科 芸術 科目 書道Ⅱ

教科: 芸術 科目: 書道Ⅱ

単位数: 1 単位

対象学年組: 第 4 学年 1組

教科担当者:

使用教科書: (東京書籍 書道Ⅱ)

教科 芸術 の目標:

- 【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特性について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技術を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 造形的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道Ⅱ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて更に幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を更に工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を更に味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を更に育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して更に心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		漢 仮	漢	仮	鑑 賞					
1 学 期	漢字の書(楷書)の臨書・鑑賞 【知識及び技能】 ・用具・用材の特徴を理解しながら、楷書体の古典作品を臨書し、各古典作品ごとの特徴を理解させ、書き分ける技術を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・書道の学習に必要な用具・用材の特質と扱い方を学び、用途に応じて使用および丁寧な扱いができるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・楷書作品の鑑賞を通じて、自己の表現力を養う。	・漢字の書(楷書)の臨書・鑑賞 プリントによる運筆の解説 机間巡視による指導				各時間の課題作品、ワークシート、授業態度 書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組みようとしている。 作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組みようとしている。				7
	漢字の書(行書)の臨書・鑑賞 【知識及び技能】 ・行書体の古典作品を臨書し、各古典作品ごとの特徴を理解させ、書き分ける技術を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・行書体の筆遣いと楷書体の筆遣いを比較させ、違いを理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典作品や他生徒作品の鑑賞を通じて、自己の表現力を養う。	漢字の書(行書)の臨書・鑑賞 プリントによる運筆の解説 机間巡視による指導				各時間の課題作品、ワークシート、授業態度 書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組みようとしている。 作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組みようとしている。				7
2 学 期	仮名の書の臨書・鑑賞 【知識及び技能】 仮名の成り立ちを学び、仮名と漢字の筆遣いを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 仮名の古筆の臨書の学習を通じて、仮名の筆遣いの理解を深めさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・仮名作品の鑑賞を通じて、自己の表現力を養う。	仮名の書の臨書・鑑賞 プリント、水書板による運筆の解説 机間巡視による指導				各時間の課題作品、ワークシート、授業態度 仮名の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について理解している。 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組みようとしている。 作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組みようとしている。				7
	漢字仮名交じりの書の創作・他生徒作品の鑑賞・意見交換 【知識及び技能】 用具・用材の特徴と表現効果の関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や意図に基づいた表現力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 漢字仮名交じりの書や他生徒の作品鑑賞を通じて、自己の表現力を養う。	漢字仮名交じりの書の創作・他生徒作品の鑑賞・意見交換 現代の書の鑑賞をさせ、創作の表現方法の効果について解説				創作作品、ワークシート、授業態度 目的や用途に即した効果的な表現や、漢字と仮名の調和した線質、余白による表現の工夫をしている。 目的や用途に即した表現形式、題材の解釈に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。 作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組みようとしている。				8
3 学 期	漢字の書(草書・隸書) 【知識及び技能】 ・草・隸書体の古典作品を臨書し、各書体ごとの特徴を理解させ、技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 草・隸書体の基本運筆を練習させ、楷書体、行書体との違いを理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・草・隸書作品の鑑賞を通じて、自己の表現力を養う。	漢字の書(草書・隸書)の臨書・鑑賞 プリント、水書板による運筆の解説 机間巡視による指導				・各時間の課題作品、ワークシート、授業態度 草・篆書の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について理解している。 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組みようとしている。 作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組みようとしている。				5
	はがき・手紙・履歴書 【知識及び技能】 日常の書(はがき、手紙)の書き方を学習し、硬筆の技能を身に付けさせる。 ・著作権について学習し、引用する場合の方法や注意点を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 生活や社会における書の効用について理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 日常に生かそうと意欲的に取り組む姿勢を育むとともに、自己の表現力にもつなげる。	はがき、手紙、履歴書作成 ・漢字の書き順についての指導 ・ワークシート プリントによる解説 授業中での添削				ワークシート、授業態度 書式による書き方の違いや毛筆と硬筆での表現方法の違いを理解している。 著作権について理解している。 硬筆技能の向上に向けて主体的に学習に取り組もうとしている。				5
合計										39